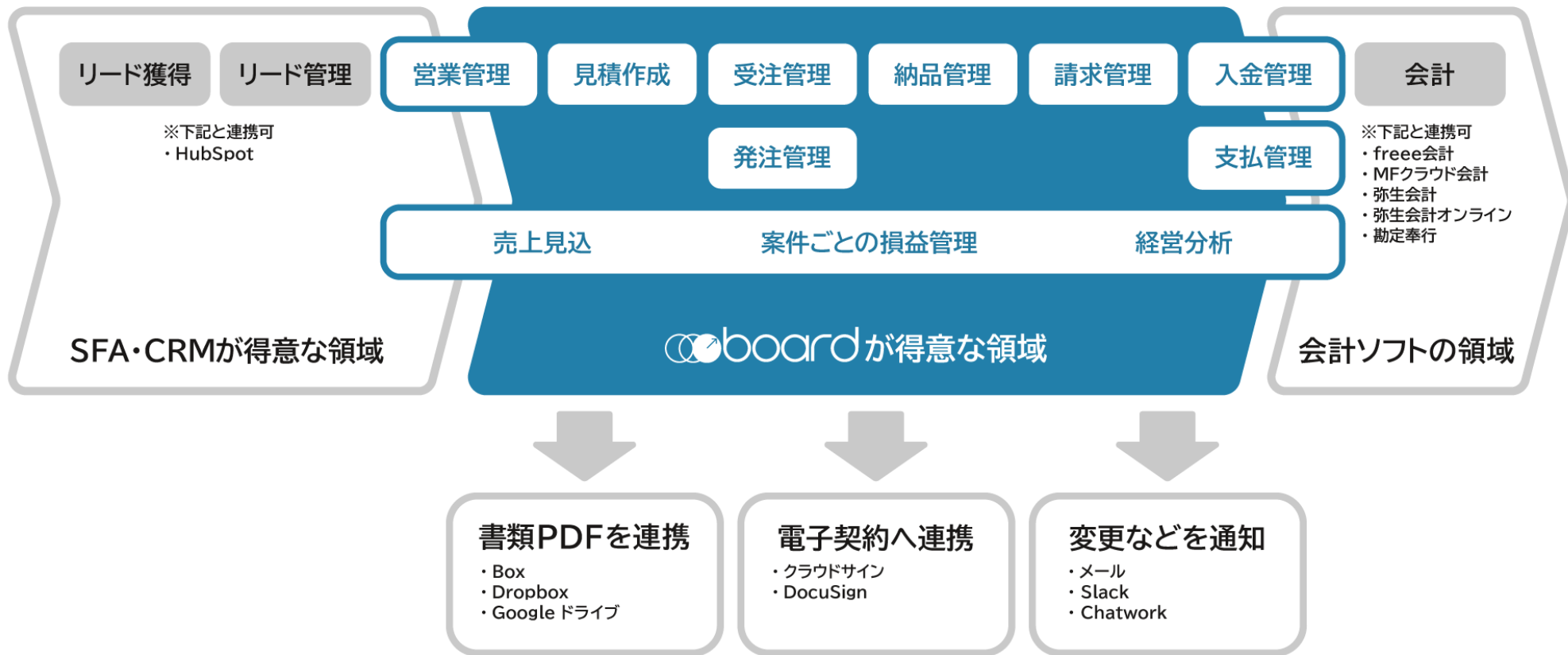


② ヴェルク(株) board

② ヴェルク(株) board (概要)

企業名	ヴェルク株式会社
機器・サービス名	board (https://the-board.jp/)
問合せ先	support/atmark/the-board.jp (注)スパムメール防止のため「@」を「/atmark/」と表記しています。
機器・サービスの概要	見積書・請求書などの書類作成や売上見込の管理などを通して、「バックオフィス業務の効率化」と「経営に必要な数字の見える化」を実現する中小企業・個人事業主向けのクラウド型業務・経営管理システムです。
機器・サービスの特徴	<p>1. 機器・サービスの機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ● インボイス制度に対応した請求書をはじめ、見積書・発注書・納品書・領収書・支払通知書などのさまざまな書類を作成できます。作成した書類は、PDF出力・メール・郵送・電子契約サービス経由での送付などが可能です。 ● 受発注を紐付けることにより、案件単位での損益管理を行えます。 ● 案件の情報は自動的に集計機能に反映され、いつでも売上の見込みなどを確認できます。 <p>2. 情報アクセシビリティの配慮内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ● NPO法人カラーユニバーサルデザイン機構の協力を得て、100画面以上ある全画面を対象に、色弱(P型・D型)の方でも識別しやすい色使いのカラーユニバーサルデザインに対応しています。 ● JIS X 8341-3:2016の「適合レベルAA」を目標とし、継続的な検証・改善に取り組んでいます。 ● boardで作成する書類(見積書・請求書など)のPDFにUDフォントを採用しています。これにより、board利用者だけでなく、見積書・請求書などを受領した方にとっても見やすさの改善が期待できます。

② ヴェルク(株) board (概要)



② ヴェルク(株) board (概要)

当事者ニーズを踏まえた開発

boardの初期開発当初(2014年)はアクセシビリティを考慮した開発は行っていませんでしたが、2019年以降、各分野の専門家に協力を得ながら、アクセシビリティの改善に取り組んでいます。

- 2019年に、NPO法人カラーユニバーサルデザイン機構(CUDO)の協力を得て、100画面以上ある全画面を対象に、色弱(P型・D型)の方でも識別しやすい色使いに変更し、CUDOが発行するCUD認証を取得しました。
- 2021年より、株式会社ディーゼロにアクセシビリティ改善の支援をいただき、JIS X 8341-3:2016の「適合レベルAA」を目標とし、継続的に検証・改善を進めています。
- 2023年には、boardで作成できる書類(請求書など)のPDFに、株式会社モリサワが提供するUDフォントを導入しました。これにより、ロービジョン・ディスレクシアなどの方が請求書等の書類を受領した際の見やすさが改善できる可能性があります。

企業としての取組

アクセシビリティに関して、以下のような取り組みを行なっております。

- boardというサービスの中で直接的にアクセシビリティの改善に取り組む開発メンバー以外にも、継続的に情報の共有を行うようにしています。
- システムそのものだけでなくヘルプもアクセシブルするため、ヘルプの更新を行うサポートチーム向けに、アクセシビリティを考慮したヘルプの書き方のガイドラインを作成しました。
- 開発チーム内のレビューの中で、アクセシビリティに影響する箇所についてフィードバックするようにしています。
- NPO法人カラーユニバーサルデザイン機構の企業賛助会員となっており、アクセシビリティに関する活動の支援も行なっています。

② ヴェルク(株) board (審査結果)

1. 当事者・開発者の視点でみたときに、アクセシビリティ配慮として評価できる点

a. 製品が提供する価値

- 様々な職種の色々な人が担当することを視野に入れている。
- 本システムの普及が進めば、障害者の就労機会を増やしていくことができる。

b. 機能面でのアクセシビリティ配慮

- JIS X 8341-3における配慮必要項目の達成に向けて取り組んでいる。
- 一般製品で色弱の人へ配慮されているものは少ないため、貴重である。
- 色覚障害者への配慮やカラーユニバーサルデザインの導入、UDフォントの使用等に取り組んでいる。
- アクセシビリティに加えユーザビリティの観点でも評価できる。

2. 当事者にとって重要であるが、今後更なる配慮が期待される点(今後期待したい点)

a. 製品が提供する価値

—

b. 機能面でのアクセシビリティ配慮

- 本システムは、事務部門で働く視覚障害者が使用する可能性が高く、そのサポート体制をより充実していくことを期待している。
- 業務用ソフトウェアでPDFを作成する際、アクセシビリティの確保は後回しにされがちである。特に、HTMLベースの資料をPDFに変換する際に、読み上げ機能等のアクセシビリティが考慮されないことがある。将来的には、PDF帳票が読み上げ機能に対応するようになることを期待している。

② ヴェルク(株) board (審査結果)

3. 当事者ニーズを踏まえた開発について、優れている点

- 製品のアクセシビリティ向上に専門家の協力を得て取り組んでいる。具体的には、NPOカラーユニバーサルデザイン機構を介した色の使い方の配慮、CUD認証の取得、モリサワ等との連携によるシステムの改善。

4. 企業としての取組について、優れている点

- 企業全体として、アクセシビリティへの取組が評価できる。JIS X 8341-3のレベルAAを目標に掲げており、好印象である。
- アクセシビリティに関するフィードバックを開発部門内で共有、カラーユニバーサルデザイン機構への参画が行われている。
- 開発過程でアクセシビリティへの意識が高まり、障害者就労に役立つシステムとなった。
- 一般製品のアクセシビリティ向上にも取り組んでいるのがよい。